

「第9回太平洋・島サミット」の開催発表について

本日4月1日、加藤内閣官房長官の記者会見において、本県志摩市での開催が決定しておりました「第9回太平洋・島サミット」が、本年6月28日の週にテレビ会議方式により開催されることが発表されました。

第9回太平洋・島サミットについては、菅総理大臣はもとより太平洋島しょ国首脳のご来県を地元志摩市をはじめ県内の多くの方々が期待していただけに、テレビ会議方式となり、皆様を三重の地にお迎えできないことは、誠に残念でなりません。

もっとも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、太平洋島しょ国においては、厳格な出入国の規制や、外国への渡航手段が大きく制限されており、現時点では、大多数の首脳の訪日が困難な見通しです。

こうした状況を踏まえ、政府が、様々な事情を考慮のうえ、やむを得ずテレビ会議方式での開催を決定したものと受け止めており、本県といたしましても、このご判断を尊重したいと考えています。

コロナ禍にもかかわらず、これまで本県でのサミット開催に向けて、ご尽力をいただいた太平洋島しょ国首脳ならびに各国政府関係者の皆様、菅総理大臣、首相官邸や外務省の皆様、駐日各国大使や大使館の皆様、そして地元市町や関係団体など、全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今回のサミットはテレビ会議方式となりましたが、政府や関係各国のご理解とお力添えのもと、この開催に合わせて、本県の魅力や取組が情報発信できるよう取り組んでまいります。

また、第10回太平洋・島サミットが開催される際には、実際に各国首脳の皆様に本県にお越しいただき、県民の皆さんと笑顔でふれあうことができるよう、令和4年度以降と見込まれる次期開催地の決定に向けて、再び誘致活動に取り組んでまいりたいと考えています。

今後、私が次期代表を務める太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議を令和3年度に本県で開催できるよう調整を進めるとともに、パラオ共和国と本県の友好提携25周年事業についても、この先、大統領が訪日される機会があれば、あらためて開催できるよう取り組んでいきたいと考えています。

こうした太平洋島しょ国との交流を礎に関係各国との友好関係を深めてまいります。

令和3年4月1日

三重県知事 鈴木英敬